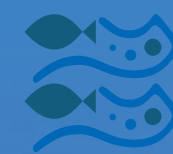


多摩川は今



平成30年度
川崎市多摩川プラン
実施事業報告書



平成30年度
川崎市多摩川プラン
実施事業報告書

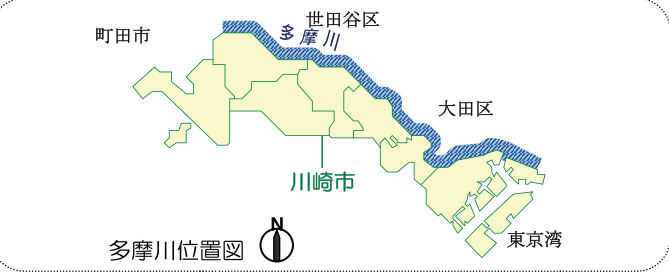


川崎市



目次

新多摩川プランについて	1ページ
I.自然と調和した美しい多摩川へ	
多摩川美化活動(推進施策No1)	2ページ
花と緑ある川づくり(梅香事業の展開) (推進施策No2)	2ページ
多自然川づくりの推進(推進施策No5)	3ページ
川崎ふるさと生き物さがし(推進施策No6)	3ページ
II.多摩川を知り 災害から市民を守る	
治水事業による治水安全度の向上への取組 (推進施策No7)	4ページ
水辺の安全事業の実施(推進施策No9)	5ページ
水防訓練の実施(推進施策No10)	5ページ
ハザードマップの改訂(推進施策No11)	5ページ
III.子どもの生きる力を育む場の創造	
「渡しの復活」事業(推進施策No13)	6ページ
環境学習・環境教育の推進(推進施策No15)	7ページ
研究所等の施設を用いた環境セミナーの実施 (推進施策No15)	7ページ
水辺の楽校の活動支援(推進施策No16)	8~9ページ
IV.多摩川とともに歩む みんなの暮らし	
上平間・古市場地区周辺施設の再整備 (推進施策No18)	10ページ
サイクリングコースの整備(推進施策No19)	11ページ
簡易水洗トイレの充実(推進施策No20)	12ページ
運動施設やマラソンコースの補修 (推進施策No21)	12ページ
殿町緑地デッキ工事(推進施策No22)	12ページ
多摩川緑地バーベキュー広場の適正管理 (推進施策No23)	13ページ
丸子橋バーベキュー対策(推進施策No23)	13ページ
V.つながりを深めて魅力的な流域へ	
市民・企業・学校・行政の活動交流(推進施策No27)	14ページ
スポーツ大会等の開催(推進施策No28)	15ページ
拠点施設を活かした情報発信(推進施策No29)	16ページ



表紙の写真

ユキヤナギ(バラ科シモツク属)
ユキヤナギは、バラ科の落葉低木で、雪白の小さな花が枝全体につき、株を覆います。幸区古市場1丁目～高津区久地2丁目の10.3キロにわたり約2700株が植えられており、春を告げる花として、川崎市の多摩川河川敷を白色の花で彩ります

新多摩川プランについて

■多摩川は今について

川崎市では、多摩川を「母なる川」として市民共有の財産と位置づけ、より身近な魅力ある空間とするため、2007年3月に「川崎市多摩川プラン」を策定しました。新多摩川プランとは、多摩川プランを2016年3月に改訂したものです。
本書では、まさに今、多摩川でどんな事業が進んでいて何が行われているのかを、もっと市民に知ってもらうために、治水についての情報や今年度の事業、注目のイベントなどを抜粋して、実施事業報告書としてまとめています。市の取組を知っていただくとともに、多くの方に多摩川へ足を運んでいただくきっかけとなれば幸いです。

■新多摩川プランの施策体系

新多摩川プランは、多摩川プランから約10年間に变化した社会情勢や自然環境、市民のニーズをふまえて、川崎のシンボルである「ふるさとの川・多摩川」の歴史的・文化的資源、そして環境資源を最大限に活かしたにぎわいの場(憩い、遊び、学ぶ)の創出を目指しています。
基本理念に基づき5つの基本目標を設定し、基本目標に対して30の推進施策と100の実施事業を位置付けています。

基本理念		
「川のふるさとの再生 市民協働による多摩川ライフの創造」		
多摩川は限りない可能性を有した存在であり、大都市の中を流れる自然豊かな大河川で「川崎の母なる川」となっています。市民共有の財産として再評価し、豊かな河川環境の創出を目指して、市民・企業・学校・行政との協働により、より魅力的な豊かな多摩川を持続的に育むしくみづくりをめざします。		
基本目標	推進施策	実施事業
I 自然と調和した美しい多摩川へ	1. 河原風景の保全 2. 花と緑のある川づくりの推進 3. 水と緑のネットワーク 4. 水環境の向上 5. 多自然川づくりの推進 6. 生物多様性の保全に向けた普及啓発等の推進	100の実施事業
II 多摩川を知り災害から市民を守る	7. 治水の強化・防災性の向上 8. 緊急河川敷道路の整備 9. 防災教育の推進 10. 河川敷を利用した防災訓練の実施 11. 防災情報の発信	
III 子どもの生きる力を育む場の創造	12. 歴史的・文化的資源の収集・伝承 13. 「ふるさと資産・遺産」の活用 14. ニヶ領用水を活かしたまちづくりの推進 15. 環境学習・環境教育の推進 16. 水辺の楽校の展開	
IV みんなの暮らしに寄り添う多摩川へ	17. アクセスの向上 18. 施設の再配置・再配備 19. サイクリングコースの充実 20. 施設の充実 21. 管理水準の向上 22. 河川空間の新たな利用促進 23. 河川敷レジャー利用の適正化 24. 自然エネルギーの利用 25. ホームレスの自立支援作の充実	
V つながりを深めて魅力的な流域へ	26. 流域自治体等との協働・推進 27. 多様な主体を支えるシステムづくり 28. 多摩川を活用したイベントの開催 29. 総合的な情報共有・受発信 30. 市民参加の川づくり	

I. 自然と調和した美しい多摩川へ

都市における貴重な水と緑のオープンスペースである多摩川は、都市景観を形作る主たる要素であります。そんな多摩川を市民の記憶に残る風景となるよう、より自然豊かな多摩川の再生を推進しています。

① 多摩川美化活動(推進施策No1)

母なる川多摩川を「きれいに」「よごさない」「親しまれる川」とするために毎年6月の第1日曜日に多摩川河川敷で市民参加による清掃活動を行っています。

○第40回(平成30年度)多摩川美化活動(主催:川崎市市民文化局市民活動推進課)

1 実施日

平成30年6月3日(日)

2 集合場所

多摩区・麻生区 …… ニヶ領宿河原堰付近河川敷(中央会場)
高津区・宮前区 …… 新二子橋付近河川敷
中原区 …… 丸子橋付近河川敷
幸 区 …… 古市場陸上競技場付近河川敷
川崎市 …… 中瀬河川敷

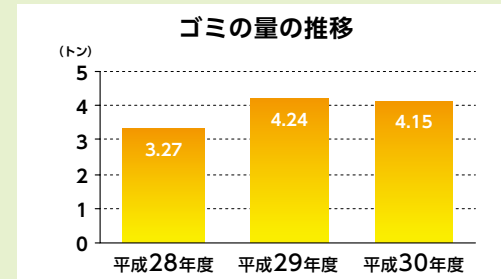
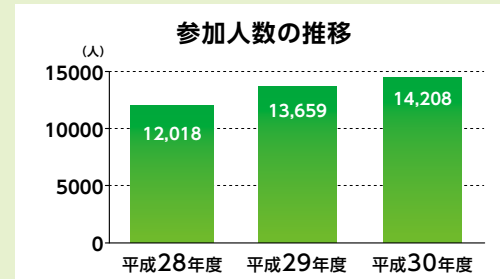


3 参加人数

171団体…14,208人

4 ごみの量

ふつうゴミ 3.83 t
空きカン 0.146 t
空きビン 0.176 t
計4.15 t



② 花と緑ある川づくり(梅香事業の展開)(推進施策No2)

梅香事業は、多摩川に接し、幸区の魅力であり資源である御幸公園に、梅林を市民と復活させるとともに、憩いの場、集いの場となり、地域コミュニティの活性化につながることを目的に実施しています。

本年度はうめかおる寄附及び河川財団の助成金を活用し、梅の木50本程度を植樹し、3/2(土)に『観梅会』を実施しました。



観梅会の様子

③ 多自然川づくりの推進(推進施策No5)

多様な自然環境を有する多摩川では、多くの生き物が生息、生育できるよう、より豊かな河川環境を再生していく必要があります。国土交通省により、多摩区東名高速道路多摩川橋付近において湧水を活用した親水空間が創出され、生き物の生息しやすい環境が誕生しています。自然と触れ合える場所として、今後は更なる活用が期待されています。



湧水空間を保持した、護岸工事施工直後



緑豊かな親水空間(3年後)

親水空間内では現在、様々な植物が生育しているほか、小魚などの生き物も生息しています。



オオフサモ



サジモトカ



小魚観察会

④ 川崎ふるさと生き物さがし(推進施策No6)

多摩川は、多種多様な生物の生育・生息空間として大きな役割を果たしています。

『かわさき生き物マップ』は、多摩川河川敷を含めた市域の生き物情報の募集を通じ、身の回りの自然に目を向けるきっかけづくりや、市域の生き物情報の収集と蓄積をはかることを目的に運用されています。



かわさき生き物マップ

かわさき生き物マップ QRコード



URLはこちら→ <http://kawasaki.geocloud.jp/webgis/biodiversity.html>

Ⅱ.多摩川を知り 災害から市民を守る

全国的な水害の発生を踏まえ、防災に関する情報の必要性を再認識し、市民の防災教育を推進するとともに、災害時に迅速に対応できるよう河川敷を利用した防災訓練を推進しています。また、国と連携し、市街地の安全を守るため堤防等の整備を促進しています。

① 治水事業による治水安全度の向上への取組(推進施策No7)

■多摩川河川整備計画(国)

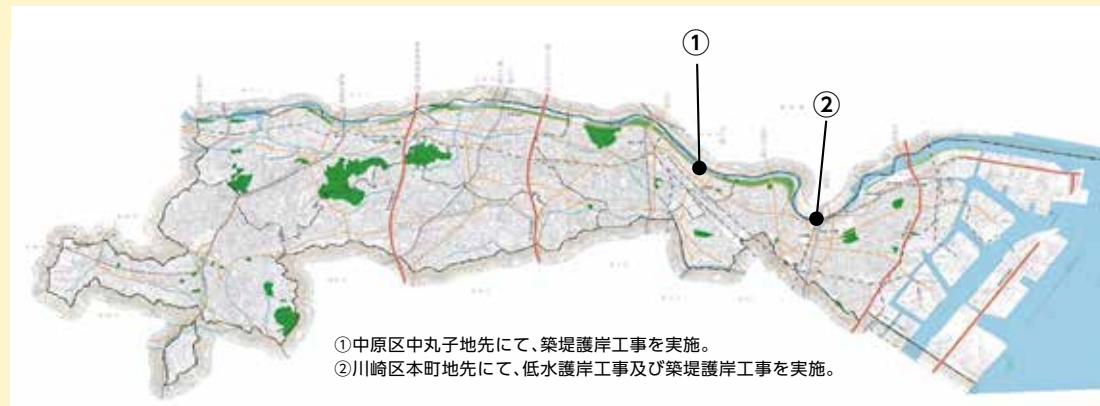
『多摩川河川整備計画』とは、多摩川の自然の脅威から人々の生活を守るとともに、かけがえのない自然の恵みを享受し、次世代に継承するなど、河川の総合的な保全と利用を図ることを目的に国土交通省により設定されたものです。治水に関する5つの目標を設定し、その達成に向け様々な取り組みを実施しています。



整備計画では、過去に多摩川で起きた洪水を参考にし、それに耐えられる治水整備を行い、戦後最大規模の洪水に耐えられる治水を目標としています。

詳しくは [京浜河川事務所 多摩川河川整備計画](#) [検索](#)

○国土交通省による堤防整備(川崎市域)



①中原区中丸子地先にて、築堤護岸工事を実施。
②川崎区本町地先にて、低水護岸工事及び築堤護岸工事を実施。

■多摩川改修百年

アミガサ事件をきっかけに多摩川の改修事業が始まってから平成30年度で改修100年を迎えます。この機会に、多摩川の治水の歴史について市民の方にも知ってもらうために、パネル展示や様々なキャンペーンを実施しました。

改めて多摩川治水の歴史を振り返り、“これからの多摩川”を考え、これからの100年も、引き続き安心・安全な多摩川を目指していきます。



イメージキャラクター「百川多摩」



多摩川改修百年告知

② 水辺の安全事業の実施(推進施策No9)

一旦事故が起こると、命に関わる重大事故となる可能性が高いのが、水難事故の特徴です。水辺で安全に楽しく遊ぶため、川の危険箇所などの知識や身を守る方法を学習する場として、川流れ体験を行っています。

○川の安全教室(主催:とどろき水辺の楽校)

- | | |
|--|---|
| <p>1 開催日
平成30年6月3日(日)
平成30年9月23日(日)</p> <p>2 場所
中原区 等々力周辺河川敷</p> <p>3 参加人数
約30名</p> | <p>ライフジャケットの着用方法をはじめ、川で流されてしまった時の受身の姿勢や、救助方法を体験しながら、楽しく学びました。</p> |
|--|---|



受け身体験(ライフジャケット着用)



川流れ体験

③ 水防訓練の実施(推進施策No10)

台風や局地的集中豪雨等による水難事故及び風水害に備えて、防災関係機関の連携・協力体制を充実強化することを目的とした訓練を関連する各区ごとに実施しています。(一部は多摩川河川敷以外で実施)本年度は6月6日(水)及び7日(木)に行いました。

訓練内容

水防資器材の取り扱い、水防工法訓練、水難救助訓練



水難救助訓練

参加者

消防署、消防団、区道路公園センター等



水防工法訓練

④ ハザードマップの改訂(推進施策No11)

平成27(2015)年に水防法が改正され、国土交通省の新たな浸水想定区域等が公表されました。本市におきましても平成16年に作成した洪水ハザードマップの改定作業を進め、川崎市・幸区のハザードマップを平成29年5月に改定し、中原区・高津区・宮前区・多摩区・麻生区についても平成30年3月に改定を行いました。



▲ハザードマップ(地図)

◀ハザードマップ(情報)

詳しくは

[川崎市 洪水ハザードマップ](#)

[検索](#)

多摩川の洪水想定図はこちら

[洪水浸水想定区域図 多摩川](#)

[検索](#)

Ⅲ.子どもの生きる力を育む場の創造

多摩川は、都市にある貴重な環境資源となっており、古くから市民生活と深く関わり歴史や文化を築いてきました。多摩川での体験や環境学習などを通じて、知識や経験を伝承するため、子供たちの豊かな心と身体の育成を目指しています。

①「渡し」の復活事業(推進施策No13)

人の往来や作物の運搬のため多摩川には数多くの渡し場があり、その流域は一体の文化圏となっていました。市内には約20箇所に渡し場があったとされ、その文化・歴史を後世に伝えるとともに、地域や対岸との交流の場として、「渡し」の復活を行っています。今年は丸子橋と二子橋の2地点で実施しました。

○丸子の渡し祭り・e体験(eボート・走り方教室など)
(主催:丸子の渡し復活協議会)

- 1 開催日
平成30年10月14日(日)午前10時～午後3時
- 2 場所
中原区 丸子橋第一広場及び周辺多摩川
- 3 来場者数
約2000名



丸子の渡し開校式



○二子の渡し体験
(主催:高津区地域振興課)

- 1 開催日
平成30年11月3日(木・祝) 正午～午後3時30分
- 2 場所
高津区 二子橋周辺の河川敷
- 3 来場者数
約750名

渡し船には
600名が乗船!

Eボート体験も
あるよっ

渡し船には
350名が乗船!



② 環境学習・環境教育の推進(推進施策No15)

市内小中学校や各種団体に向けて、多摩川の植物や魚、野鳥についての観察会の開催等により環境学習・環境教育に取り組んでいます。環境学習の対応については、民間業者ではなく、市民団体がを行っています。二ヶ領せせらぎ館、大師河原水防センター、中原区等々力地先の3拠点を中心に年間150回程度開催し、6000名以上を受け入れています。



環境学習の様子

③ 研究所等の施設を用いた環境セミナーの実施(推進施策No15)

川崎市環境総合研究所の環境教育の一環として、研究所の調査・研究成果や科学的知見及び立地条件を活かして、子供たちや市民を対象に実施しています。野外での生物観察・調査を通じて、環境に関心を持ち、理科の楽しさや面白さを伝えることを目的としています。

○多摩川河口干潟の生きもの観察会(全8回)

- 1 場所
川崎市環境総合研究所(川崎区殿町3-25-13)
多摩川河口干潟(川崎区殿町3丁目地先)
- 2 来場者数
約400人

『干潟って何だろう』や『干潟の生き物と巣穴』などをテーマに、講義と干潟での生き物採取、観察等を行いました。



干潟での生き物採取の様子

④ 水辺の楽校の活動支援(推進施策No16)

水辺の楽校は、国土交通省が文部科学省、環境省と連携して進めているプロジェクトで、水辺をフィールドに子供たちが川に親しむ自然体験活動を推進しています。川崎市内ではだいし・とどろき・かわさきの3校が活動をしており、川崎市はその活動のサポートをしています。

また、それぞれの活動のほか、6月に3校合同での干潟観察会を開催しました。1年間の活動の発表の場として、2月に多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎を開催しています。

○かわさき水辺の楽校

- 1 開催日(開校式)
平成30年5月13日(日)ほか全11回
- 2 場所
多摩区二ヶ領せせらぎ館
- 3 来場者数
510人(全11回の延べ人数)

詳しくは、

かわさき水辺の楽校

Q 検索



○とどろき水辺の楽校

- 1 開催日(開校式)
平成30年4月29日(祝)ほか全10回
- 2 場所
中原区等々力地先河川敷
- 3 来場者数
2024人(全10回の延べ人数)

いっぱい
見つけたよっ！水の中を
ガサガサして
生物を探そうっ！

詳しくは、

とどろき水辺の楽校

Q 検索

遊びに
来てね！

○だいし水辺の楽校

- 1 開催日(開校式)
平成30年4月28日(日)ほか全14回
- 2 場所
川崎区大師河原水防センター
- 3 来場者数
770人(全14回の延べ人数)

詳しくは、

だいし水辺の楽校

Q 検索



○多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎

- 1 開催日
平成31年2月17日(日)
- 2 場所
エポック中原

1年間の活動の発表の場として、2月に多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎を開催しています。

3校の水辺の学校で学んだ受講生が、多摩川の魅力を発信します。

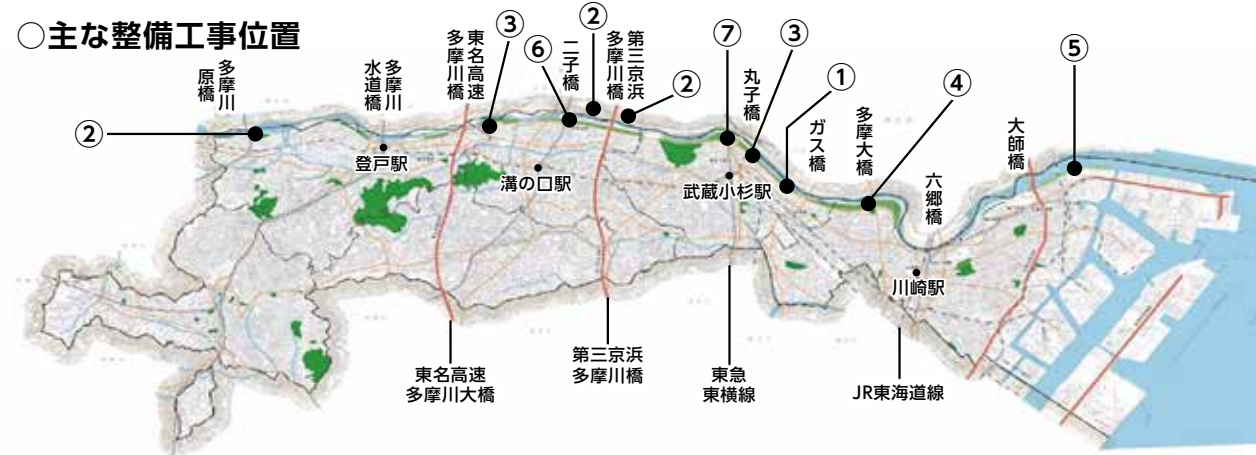
どんな生き物が
見つかるかな？

多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎

Ⅳ.多摩川とともに歩む みんなの暮らし

誰もが利用しやすく、過ごしやすい多摩川を目指して、運動施設やサイクリングコースの整備やバーベキュー場の適正管理を行っています。

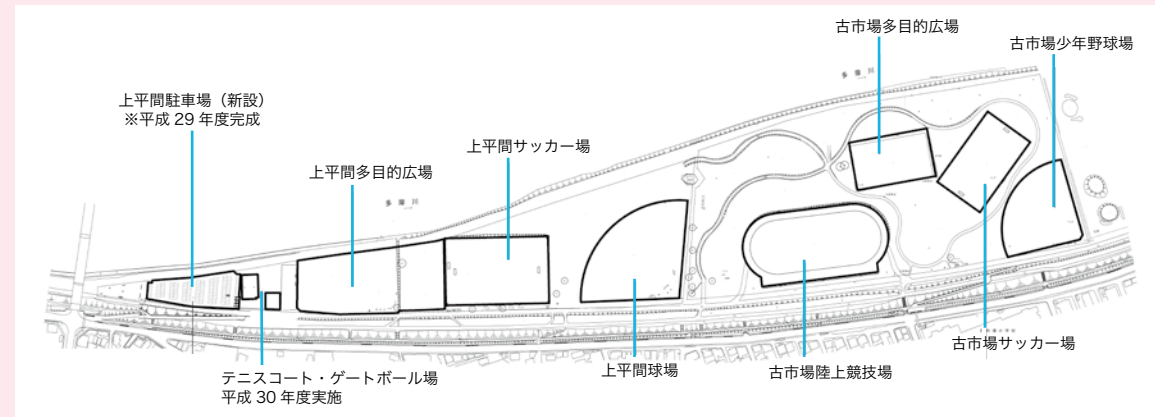
○主な整備工事位置



① 上平間・古市場地区周辺施設の再整備(推進施策No18)

運動施設利用における市民ニーズの変化に対応するため、既存施設の最適化を進めています。昨年度から5箇年かけて、当地区の各施設の再整備を進めていきます。

各施設の再整備については、地元町会や利用団体のご意見を踏まえ、配置は現状を維持したうえで、より快適に利用していただくため、排水機能の改善やグラウンドの補修を実施していきます。



○テニスコートの整備

上平間・古市場地区周辺施設の再整備の一環として、本年度はテニスコートの再整備を実施しました。



施工前



施工後

② サイクリングコースの整備(推進施策No19)

平日には通勤・通学路、休日にはサイクリングや散歩と、たくさんの人に利用されているサイクリングコースを、さらに便利に、安全に利用してもらうため、延伸や拡幅、路面表示の整備を実施しています。

○延伸整備

多摩区布田地区にて橋梁と坂路の整備を実施しています。この事業が完成すると、稲城市への接続が可能となります。



サイクリングコース整備



橋梁イメージ図

○拡幅整備

今年度は、高津区下野毛地先にて 幅員2mから3mに拡幅整備を実施しました。今後、狹隘区間の拡幅を順次進めていきます。



整備前



整備後

○路面表示

今年度は、多摩区・高津区に「ゆっくり走ろう」等の注意喚起や、「歩行者優先」「左側通行」「合流注意」の路面シートを設置しました。またせせらぎ館と大師河原水防センター付近のサイクリングコース上にAED設置の路面シートを設置しました。



注意喚起「合流注意」



AED設置標示路面シート

③ 簡易水洗トイレの充実(推進施策No20)

現在配置されている汲取り式トイレを簡易水洗トイレに更新しています。

今年度は、宇奈根地区、上丸子山王町地区に1基ずつ簡易水洗トイレを整備します。



汲取り式トイレを・・・



簡易水洗トイレに!!

④ 運動施設やマラソンコースの補修(推進施策No21)

河川敷の運動施設やマラソンコースなど、多くの利用者が安全で快適に利用していたため、施設の補修やグラウンド等の凹凸を解消しています。

○多摩川丸子橋硬式野球場グラウンド補修工事

川崎市中原区天神町地内にて、丸子橋硬式野球場のグラウンドの補修工事を実施しました。



工事着手前



整備後

⑤ 殿町緑地デッキ工事(推進施策No22)

川崎市が国際戦略拠点として位置付けている殿町キングスカイフロントに隣接する、殿町緑地に憩いの場を整備することを目的に、寄付金によりベンチ一体型ウッドデッキを整備しました。多摩川とキングスカイフロント双方のさらなる魅力向上を目指します。



着手前



施工後

⑥ 多摩川緑地バーベキュー広場の適正管理(推進施策No23)

多摩川緑地バーベキュー広場は、指定管理者による施設の適正管理のもと、施設周辺の迷惑行為防止にも努めています。また、地元貢献イベントを開催するなど、地元への還元にも取り組んでいます。



バーベキューエリアスタッフ誘導



かわさきキャンプin多摩川

来場者の状況に応じて、施設内の維持管理と24時間体制での周辺河川敷の警備を行っています。今年度は迷惑行為対策として、地元の商店街と連携した駅周辺の交通誘導・案内、周辺地域のゴミ清掃や高津消防署の協力のもと、過剰飲酒防止の啓発活動を実施しました。また、地域還元事業として、平成31年3月2日(土)に防災・キャンプの体験イベント「かわさきキャンプin多摩川」を開催しました。

⑦ 丸子橋バーベキュー対策(推進施策No23)

丸子橋地区には瀬田地区のようなバーベキュー広場はありませんが、バーベキュー利用者が多く訪れ、ゴミの投棄や騒音などの問題が発生しています。

バーベキュー利用者によるゴミは、河川敷のみならず、周辺市街地のゴミ集積所などにも不法投棄されています。

この問題の改善のために、関係団体が集まり、丸子橋周辺バーベキューに関する連絡会を開催しています。

今年はピラ配りや市街地の視回りなど周辺町内会や関係団体といっしょに、マナーアップキャンペーンを行いました。

○丸子橋周辺バーベキューに関する連絡会

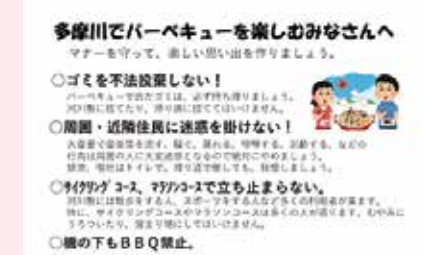
1 開催日

平成30年6月29日(金)

平成30年11月26日(月)

2 参加者

丸子橋周辺町内会、京浜河川事務所、東急電鉄、東京都、中原警察署、川崎市



マナー啓発のピラ

V.つながりを深めて魅力的な流域へ

流域自治体や市民、活動団体、企業、学校など多様な主体が協働・連携することで、流域全体の交流を促進し、多摩川の魅力向上に向けた取組を推進しています。また、地域の特性を活かしたイベントを開催し、市民のふるさととなる川づくりを推進しています。

① 市民・企業・学校・行政の活動交流(推進施策No27)

多様な主体が多摩川づくりに参画できるよう、市民から行政まで、多様な主体の協働による取組を推進しています。

○多摩川綱引き大会(主催:同実行委員会)

- 1 開催日
平成30年5月7日(土)
- 2 開催場所
綱引き対決:世田谷区側河川敷 兵庫島公園
食対決:高津区側河川敷 芝生広場
- 3 来場者数
約300名



綱引き大会(兵庫島公園)

世田谷区、高津区の両区でさまざまな活動を行っている方々を中心に、更に交流を深め、流域の発展を目指して開催されました。

○水辺で乾杯 in 川崎(主催:まちづくり活動団体など)

- 1 開催日
平成30年7月7日(土)
- 2 開催内容
【川崎区】水辺で乾杯 in 殿町(中止)
【幸区】タコをかこんで水辺で乾杯!
【中原区】熱中症予防対策講座(写真上)
【高津区】水辺でカンパイ縁日
【高津区-世田谷区】二子で乾杯!(写真中央)
【多摩区】かわさき色輪っかつなぎ
【多摩区】夕涼みコンサート(写真下)
【多摩区】水辺で乾杯 in 登戸

来年も
やるぞっ!



- 3 来場者数
計 約900名

「水辺で乾杯」は国土交通省が提唱するミズベリング・プロジェクトの1つで、川崎市では、地元商店街やまちづくり活動団体、企業等と連携して乾杯の拠点となる「乾杯スポット」を設定し、水辺に赴くきっかけづくりを推進しています。

○SUP THE RIVER TAMAGAWA(主催:同実行委員会)

- 1 開催日
平成30年10月21日(日)
- 2 開催場所
多摩川殿町地区
- 3 来場者数
約350名



SUP THE RIVER TAMAGAWA

自然環境の保全や秩序ある利用に対する理解を広げるとともに、SUP(スタンドアップパドルボード)を通じて水辺を有効に活用した賑わい創出による地域活性化を図りました。

② スポーツ大会等の開催(推進施策No28)

市民が親しみ、交流を深める場としての多摩川の魅力発信の一環として、スポーツ大会やイベントを開催しています。

○多摩川カヌー教室

(主催:川崎市市民スポーツ室、とどろき水辺の楽校)

- 1 開催日
平成30年8月5日(日)
- 2 場所
丸子橋付近河川敷
- 3 参加者数
82名

カヌーの技術習得だけでなく、水上事故に備えた救急法に関する知識の習得や、多摩川の自然を身近に感じることを目的に実施しました。



カヌー教室の様子

○川崎国際多摩川マラソン

(主催:川崎市市民スポーツ室、川崎市スポーツ協会)

- 1 開催日
平成30年11月18日(日)
- 2 場所
等々力競技場(スタート、ゴール)
コース:多摩沿線道路
多摩川河川敷マラソンコース

- 3 参加者数
6671名

多摩川河川敷のフラットなコースを走る人気のハーフマラソン大会です。
本年度は昨年を上回るたくさんのランナーが参加しました。



多摩川河川敷マラソンコース

多摩川では
大小あわせて
約80回もの
マラソン大会が
行われているよ!

○第77回川崎市制記念多摩川花火大会

- 1 開催日
平成30年10月13日(土)
- 2 会場
川崎市高津区諏訪二丁目地内多摩川河川敷
- 3 観客数
185,000人
[右岸(川崎)側:140,000人、
左岸(東京)側:45,000人]

今年は6000発もの花火が打ち上がり、観客からは歓声があがっていました。



③ 拠点施設を活かした情報発信(推進施策No29)

二ヶ領せせらぎ館や大師河原水防センターの拠点施設から、多摩川をより身近に感じてもらうため、市民目線で集めた情報の発信を行っています。

○二ヶ領せせらぎ館

国土交通省が管理する二ヶ領宿河原堰管理事務所の一部を、防災活動、自然環境、歴史や文化の情報発信・環境学習の拠点として、川崎市とNPO法人多摩川エコミュージアムが協働で管理運営する施設です。

所在地：多摩区宿河原1-5-1

TEL：044-900-8386

アクセス：JR南武線・小田急線

登戸駅下車 徒歩10分

開館日：火～日曜、祝日 10:00～16:00



二ヶ領せせらぎ館



アクセスマップ

○大師河原水防センター

国土交通省が管理する大師河原河川防災ステーションの一画にあり、多摩川の洪水時などの防災活動、自然環境、歴史や文化の情報発信・環境学習を行う拠点として、川崎市とNPO法人多摩川干潟ネットワークが協働で管理運営する施設です。

所在地：川崎区大師河原1-1-15

TEL：044-287-7882

アクセス：京急大師線 東門前駅下車 徒歩7分

開館日：水・木・土・日曜、祝日
10:00～16:00



大師河原水防センター



アクセスマップ

○多摩川の情報誌



多摩川エコミュージアム発行 隔月



多摩川干潟ネットワーク発行 隔月

新多摩川プランについて過去の報告書も含めもっと知りたい方はこちらのURLまたはQRコードを参照ください

●URL

<http://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000020806.html>

●QRコード



Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

多摩川は今
川崎市新多摩川プラン事業実施報告書
平成30年度

事務局：川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課
〒210-0007

川崎市川崎区駅前本町12-1

電話：044(200)2265

FAX：044(200)3979

E-mail：53tamasu@city.Kawasaki.jp